

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	増田 悠	学校名	神戸市立 甲緑小学校
実施学年	6年	教科	体育
単元名	鉄棒 組み合わせ技に挑戦		

《学びを深めたいポイント》

「支持系の基本的な技を安定して行い、その発展技を行ったり、それらの技を繰り返したり組み合わせたりすることに挑戦することが楽しい」を基本に学びを深める。

その中で、児童同士の関わりやタブレット端末を使用し技能を習得させていく。

《SKYMENU 活用のポイント》

①技の確認(発表ノート:動画貼り付け比較)

②技の組み合わせ方の思考・発展(発表ノート:発展的比較)

③班活動での技の確認やフォローの仕方記入リアルタイム更新(発表ノート:ライブ公開提出箱)

The image displays two screenshots from the SKYMENU application. The left screenshot shows a '発表ノート' (Presentation Note) with a list of gymnastics skills and a video player. The right screenshot shows a '発表ノート' with a sequence of colored boxes representing a combination of skills and a video player.

発表ノート: 動画貼り付け比較

ふとんぼし
ダンゴ虫
足抜き回り
ツバメ
ぶら下がり
ころもり

なまけもの
跳び上がり
跳び下り
前回り下り
かかえ込み前回り
転向前下り

前方支持回転
後方支持回転
逆上がり
片足踏み越し下り
ひざ掛け逆上がり
ひざ掛け上がり
前方もも背付回転
横踏み越し下り

かかえ込み後ろ回り
両ひざ掛け側立下り

発表ノート
準備中
はじり発表中

発表ノート: 発展的比較

発表ノート
準備中
はじり発表中

組み合わせ技
発表ノート
準備中
はじり発表中

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>①協力タイム(ミニゲーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシリレー ・後ろ跳び下り選手権 	<ul style="list-style-type: none"> ・班に1台タブレット端末配置 <p>ミニゲームに勝つ方法を動画で確認話し合う</p>	<p>ゲームに勝つために素早く技を次の人に繋げるにはどうしたらいいのかを授業後に確認し次時に活かす</p>
展開	<p>課題の技に挑戦したり、決めた組み合わせ技に挑戦したりしよう</p>		
開	<p>②挑戦タイム(課題技やできない技に挑戦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後方支持回転(空中逆上がり) <p>・課題に応じた練習の場や段階を選んで、もう少しでできそうな技に挑戦する。</p> <p>・課題解決のために自分や仲間が考えたことを伝える。</p> <p>・挑戦タイム発表をする。</p> <p>③コラボタイム(組み合わせ技に挑戦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の組み合わせ技を行い変更した点を紹介し合う。 ・自分で決めた組み合わせ技に挑戦し、実際にできるかを確認する。 ・良い点や変更したらよい点などをグループの友達に伝える。 ・コラボタイム発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題技に挑戦している姿を撮影してもらい発表ノートに残してもらおう。 <p>言葉で伝えるだけでなく、気づきメモに記入</p>	<p>課題技に挑戦している姿を撮影してもらい、前回の動画と比較する。さらに、技ができていない人の発表ノートを確認し自分との違いを確認し、声をかけ補助やアドバイスをもらう</p> <p>後日の振り返りに活かす</p>
まとめ	<p>④振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で、できるようになった技を発表する。 ・挑戦した技の課題と、その課題の解決のために選んだ練習の場を発表する。 ・仲間の考えや取組を認めることについて、気付いたことや考えたことを発表する。 		

	・集合、健康観察、挨拶、用具の片付けをする		
--	-----------------------	--	--

《実践を振り返って》

SKYMENU を活用することで、鉄棒の授業の幅が広がった。意見を共有したり、動画比較したり、技を発展させていったりと、発表ノートのみで構成することができるので、教師も児童もわかりやすく、たくさんの技に挑戦することができた。また、班活動では、動画比較をしながら話をするなどの確かなアドバイスができていた。さらに、運動が苦手な児童も全時間しっかりと参加することができたのも SKYMENU があったからではないかと感じた。

どの单元でも同じようなことができるわけではないが、積極的に使っていこうと思えた。